



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 JUKI株式会社
 コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清原 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 鈴木 正彦
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 042-357-2211

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	53,235	10.0	3,650	0.9	3,178	11.5	1,942	19.2
29年12月期第2四半期	48,389	5.1	3,618	78.4	3,589	491.9	2,404	

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 988百万円 (51.6%) 29年12月期第2四半期 2,043百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	66.31	
29年12月期第2四半期	82.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	113,919	33,284	28.7
29年12月期	110,554	33,343	29.6

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 32,645百万円 29年12月期 32,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		35.00	35.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年12月期期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 創立80周年記念配当10円00銭

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	0.3	5,500	32.6	5,000	36.2	3,500	38.0	119.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	29,874,179 株	29年12月期	29,874,179 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	578,096 株	29年12月期	577,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	29,296,264 株	29年12月期2Q	29,296,768 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマート工場などを提案するソリューション営業活動に取り組むとともに、将来に亘る磐石な顧客基盤の構築のため、アジア市場を中心としたミドルマーケットでの攻略を推進しております。このような状況のなか、中国での活発な設備投資需要があるものの電子部品の供給不足などにより生産の一部に遅延が生じていることから、売上高は532億3千5百万円(対前年同期比10.0%増)となりました。

利益面につきましては、売上は増加したもののミドルマーケットの市場攻略費用や開発費用の増加に加え、人民元高ドル安基調のため中国生産会社での粗利益が目減りしたことなどにより、営業利益は36億5千万円(対前年同期比0.9%増)となりました。また、営業外においては、前連結会計年度末と比べて円高ドル安で推移したことで債権の評価替による為替差損が生じたことなどから、経常利益は31億7千8百万円(対前年同期比11.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億4千2百万円(対前年同期比19.2%減)となりました。

(主なセグメント別の概況)

① 縫製機器&システム事業

市場別では中国などハイエンド分野での売上は堅調に推移し、アジア市場におけるミドルマーケットでの売上も前年同期より増加してきていることから、縫製機器&システム事業全体の売上高は347億6千9百万円(対前年同期比6.8%増)となりました。利益面においては、売上増の影響がある一方で、ミドルマーケットでの市場攻略費用を投下したことや人民元高の影響などから、セグメント利益(経常利益)は20億6千2百万円(対前年同期比28.0%減)となりました。

② 産業機器&システム事業

産業装置では最大の市場である中国をはじめとして設備投資需要が引き続き旺盛であるなか、新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置などの売上が増加し、また、受託加工等のグループ事業でも顧客開拓が進んでまいりました。しかしながら、生産遅延により一部の需要に応えられなかったこともあり、産業機器&システム事業全体の売上高は183億2千3百万円(対前年同期比17.0%増)となりました。利益面においては、売上増に加え新製品の販売増による利益率の改善もあり、セグメント利益(経常利益)は18億1百万円(対前年同期比59.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ33億6千4百万円増加して1,139億1千9百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金などが増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ34億2千4百万円増加して806億3千5百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定のマイナスが増加したことや配当金支払いなどにより前連結会計年度末に比べ5千9百万円減少して332億8千4百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は28.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億8千万円の収入(前年同期は56億4千3百万円の収入)となりました。たな卸資産は増加したものの税金等調整前四半期純利益や仕入債務の増加などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億5千1百万円の支出(前年同期は5億7千4百万円の支出)となりました。有形及び無形固定資産の取得などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の支出(前年同期は40億5千2百万円の支出)となりました。短期借入金が増加するも配当金の支払いがあったことなどによるものです。

これらの結果として、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より6億2千7百万円増加して69億6千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期通期の業績予想につきましては、米中貿易摩擦などにより当面の為替動向や新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値(2月9日)から変更していません。今後、事業環境など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,407	6,983
受取手形及び売掛金	32,398	31,781
たな卸資産	36,652	39,853
その他	4,041	4,600
貸倒引当金	△397	△400
流動資産合計	79,102	82,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,452	12,150
土地	6,459	6,362
その他(純額)	4,632	4,793
有形固定資産合計	23,545	23,306
無形固定資産		
投資その他の資産	1,672	1,760
その他	7,846	7,490
貸倒引当金	△1,612	△1,456
投資その他の資産合計	6,234	6,034
固定資産合計	31,451	31,101
資産合計	110,554	113,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,049	15,574
短期借入金	34,548	35,110
未払法人税等	666	1,406
賞与引当金	16	29
その他	6,308	6,666
流動負債合計	55,589	58,787
固定負債		
長期借入金	15,668	15,927
役員退職慰労引当金	61	65
退職給付に係る負債	5,207	5,183
その他	683	671
固定負債合計	21,621	21,848
負債合計	77,211	80,635

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	13,994	14,911
自己株式	△606	△606
株主資本合計	33,468	34,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,016	829
為替換算調整勘定	△1,966	△2,771
退職給付に係る調整累計額	208	203
その他の包括利益累計額合計	△742	△1,739
非支配株主持分	617	639
純資産合計	33,343	33,284
負債純資産合計	110,554	113,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	48,389	53,235
売上原価	32,949	37,177
売上総利益	15,439	16,057
販売費及び一般管理費	11,821	12,407
営業利益	3,618	3,650
営業外収益		
受取利息	36	18
受取配当金	99	109
為替差益	18	—
貸倒引当金戻入益	48	156
その他	299	353
営業外収益合計	501	637
営業外費用		
支払利息	506	401
為替差損	—	670
その他	25	36
営業外費用合計	531	1,109
経常利益	3,589	3,178
特別利益		
固定資産売却益	38	13
特別利益合計	38	13
特別損失		
固定資産除売却損	31	16
その他	20	—
特別損失合計	51	16
税金等調整前四半期純利益	3,576	3,175
法人税等	1,158	1,177
四半期純利益	2,417	1,998
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,404	1,942

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	2,417	1,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△187
為替換算調整勘定	△410	△817
退職給付に係る調整額	22	△4
その他の包括利益合計	△374	△1,009
四半期包括利益	2,043	988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,035	944
非支配株主に係る四半期包括利益	7	43

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,576	3,175
減価償却費	1,127	1,199
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	△132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42	△31
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△2	△38
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	13
受取利息及び受取配当金	△135	△127
支払利息	506	401
為替差損益(△は益)	△190	△34
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△6	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,007	△329
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,024	△4,242
仕入債務の増減額(△は減少)	1,975	1,713
割引手形の増減額(△は減少)	△40	42
その他	△1,168	1,158
小計	6,635	2,770
利息及び配当金の受取額	130	127
利息の支払額	△507	△403
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△614	△614
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,643	1,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△840	△1,256
有形及び無形固定資産の売却による収入	179	133
その他	86	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△574	△1,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,246	1,213
長期借入れによる収入	1,853	4,651
長期借入金の返済による支出	△2,832	△4,723
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△583	△1,021
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△121	△20
その他	△122	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,052	△4
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	△197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	956	627
現金及び現金同等物の期首残高	7,892	6,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,849	6,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,562	15,659	48,222	166	48,389	—	48,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	499	205	704	229	934	△934	—
計	33,061	15,865	48,927	396	49,323	△934	48,389
セグメント利益	2,863	1,129	3,992	20	4,013	△424	3,589

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△424百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△412百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,769	18,323	53,092	142	53,235	—	53,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	479	200	679	231	911	△911	—
計	35,248	18,523	53,772	374	54,146	△911	53,235
セグメント利益	2,062	1,801	3,863	31	3,895	△716	3,178

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益の調整額△716百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△711百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。